

外国人保護者のリアルな声から学ぶ 日本での出産と子育て



外国にルーツを持つ保護者は、言葉や文化の違いから、日本での出産や子育てについて理解するために必要な情報にアクセスしにくく、周囲からも孤立してしまうことがあります。本セミナーでは、日本での出産・子育ての経験を持つ外国人の保護者をお招きし、事例発表やパネルディスカッションを通じて、困りごとや必要な支援について一緒に考え、誰もが安心して子どもを育てられる社会を目指します。



ファシリテーター



明治学院大学教養教育センター
准教授 長谷部 美佳 氏

東京都立大学社会科学部研究科博士
課程満期取得退学、社会学博士。

研究の中心は移民とジェンダー、インドシナ難民のライフストーリーの収集、多文化共生にまつわる市民運動。神奈川県無償いちょう団地内で「多文化まじくり工房」のボランティアとして20年近く活動したほか、地域の保育園で外国人向け子育てサロンにも関わる。

日時 2026年1月9日 金 14:00 - 16:00

会場 Zoomウェビナー

対象者 自治体職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員、
多文化共生マネージャー、多文化共生の推進に関わるNPO・
NGO等関係団体職員、その他多文化共生に関心のある方

定員 400名 参加費 無料

パネリスト



清原 クリスティーン 氏

アメリカ出身。2015年に来日し、JETプログラムのALT（外国語指導助手）として鹿児島県鹿屋市の公立高等学校で勤務。結婚を機に2021年に和歌山県へ移住。現在は、2歳半と3か月の2人の娘を育てながら育児休業中。今回は、母親の立場から、日本での妊娠・出産・子育てで感じたうれしかったことや大変だったことをお話しいただく。



ラモス チェゴ 氏

ブラジル出身。2019年に来日し、JETプログラムのCIR（国際交流員）として山梨県庁で国際業務や外国人支援に従事。外国籍パートナーと結婚、2021年に長男が誕生。日本で妊娠・出産・子育てを経験し、制度理解の難しさなどに向き合いながら、文化的背景の異なる家族として日本社会に根づいてきた。今回は、父親の視点から、日本での子育てや生活についてお話しいただく。



カーン ローシャン ジャハン 氏

バングラデシュ出身。2002年に来日し、佐賀大学で博士号を取得後、市内の幼稚園で勤務。2人の子どもと出産・育児を日本で経験。現在はNPO法人Mother's Tree Japanで外国人ママのサポートをしている。今回は、ムスリムの母親として日本での出産・子育てをしてきた視点をお話しいただく。



NPO法人Mother's Tree Japan
事務局長 坪野谷 知美 氏

幼少期を海外で過ごす中、異国での子育てに苦労する母の姿を見て育つ。早稲田大学卒業後、乳児保育・子育て支援、フリースランスの産後ケアセラピストとして17年間活動し、2020年にNPO法人Mother's Tree Japanを設立。外国人ママとその家族が安心して出産・子育てできるよう、Mother's Tree Japanの活動をご紹介します。

▶ プログラム（予定）

- ・14:00 開会
- ・14:05 基調講演
明治学院大学教養教育センター
准教授 長谷部 美佳 氏
- ・14:20 事例発表・パネルディスカッション
パネリスト4名、進行：長谷部 美佳 氏
- ・16:00 閉会

▶ 申込み 1月7日（水）まで

<https://www.clair.or.jp/j/multicultural/iam/community.html>



お問い合わせ

（一財）自治体国際化協会多文化共生課

tabunka@clair.or.jp ☎ 03-5213-1725

